

**製品名: FAS マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81094**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FAS
別名	APT1; CD95; FAS1; APO-1; FASTM; ALPS1A; TNFRSF6
遺伝子 ID	355.0
SwissProt ID	P25445
免疫原	大腸菌で発現したヒト FAS の精製された組み換え断片。

**背景**

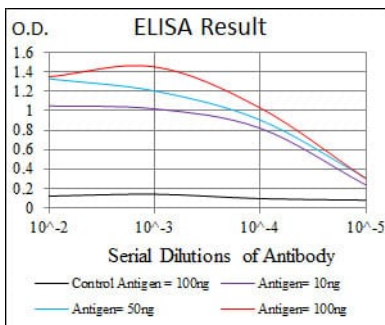
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体はデスドメインを有し、プログラム細胞死の生理的制御において中心的な役割を果たすことが示されており、様々な悪性腫瘍や免疫系疾患の病因に関与

していることが示唆されています。この受容体とそのリガンドとの相互作用により、Fas 関連ドメインタンパク質 (FADD)、カスパーゼ 8、およびカスパーゼ 10 を含む細胞死誘導シグナル伝達複合体が形成されます。複合体中のカスパーゼの自己タンパク質分解プロセッシングにより下流のカスパーゼカスケードが誘導され、アポトーシスが誘導されます。この受容体は NF- $\kappa$ B、MAPK3/ERK1、および MAPK8/JNK を活性化することも示されており、正常な二倍体線維芽細胞および T 細胞における増殖シグナルの伝達に関与することが分かっています。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションがいくつか報告されており、その一部はナンセンス依存 mRNA 分解 (NMD) の候補となる。膜貫通ドメインを欠くアイソフォームは、全長アイソフォームによって媒介されるアポトーシスを負に制御する可能性がある。

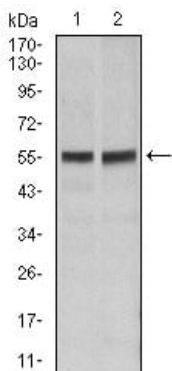
## 研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

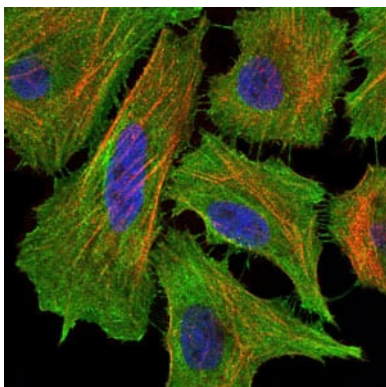
## 画像データ



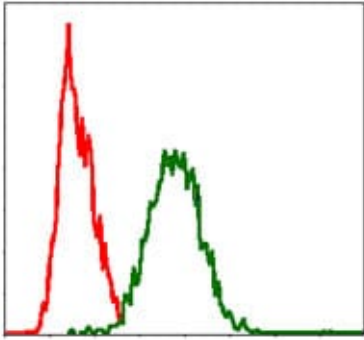
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1)、Jurkat (2) 細胞溶解物に対する FAS マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



FAS マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



FAS マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。